

北大路

# 魯山人の美



開館時間：午前9時30分～午後5時（金曜日は午後8時まで開館）※入館は開館の30分前まで  
 休館日：月曜日（ただし7月20日（月・祝）は開館し、7月21日（火）は休館）  
 主催：京都国立近代美術館、NHK京都放送局、NHKプラネット近畿、日本経済新聞社、京都新聞  
 後援：文化庁、日本ユネスコ国内委員会  
 協賛：箕ヶコーマン、日本写真印刷、白鶴酒造、三井不動産  
 特別協力：北大路魯山人の美「和食の天才展」支援委員会  
 協力：日本料理アカデミー、キヤノン、キヤノンマーケティングジャパン、クレイ・インク  
 観覧料：一般1400円（1200円）、大学生1000円（800円）、高校生500円（300円）  
 ※（）内は前売り、20名以上の団体料金  
 ※中学生以下、心身に障がいのある方は、付添い者1名は無料（入館の際に証明できるものを提示ください）  
 ※本料金でコレクション、ギャラリもご覧いただけます  
 ※前売券は2015年5月11日（月）から6月18日（水）までの期間限定販売  
 ※チケット販売所：セブンイレブン、ローソン（1～52901）、ファミリーマート、サークルKサンクス、  
 イープラズ、C.N.ブレイクアウト、チケットぴあ（Pコード：7661754）ほか  
 「チケットの購入時に手数料がかかる場合もあります」

# 和食の天才

## Kitaoji Rosanjin

A Revolutionary in the Art of Japanese Cuisine  
The National Museum of Modern Art, Kyoto



ユネスコ無形文化遺産登録記念

2015年

6月19日（金）～8月16日（日）

京都国立近代美術館  
（岡崎公園内）



展覧会ホームページ

<http://kitaoji-rosanjin.jp>

右上：《桃山風梳》 1944年 京都国立近代美術館  
中央：《雲錦鉢》 1941年頃 足立美術館

【トークセッション】

「京料理と魯山人」

ゲスト：村田吉弘氏(菊乃井・3代目主人)、徳岡邦夫氏(京都吉兆主人)、  
高橋義弘氏(瓢亭・15代目若主人)  
日時=6月20日(土) 午後2時-4時(先着200席)

【記念対談】

「回想の魯山人」(仮)

ゲスト=山田和氏(作家)  
聞き手=松原龍一(京都国立近代美術館学芸課長)  
日時=7月18日(土) 午後2時-3時半(先着100席)

※いずれも会場は京都国立近代美術館、聴講無料(要観覧券)。  
当日午前11時より1階インフォメーションにて整理券を配布します。

【若手料理人ギャラリートーク】

講師=飯田真一氏(飯田・店主)  
日時=6月28日(日)、8月2日(日) 各日午前11時-12時

【ワークショップ】

「うつわは料理のきもの：まないた皿に挑戦」

講師=山極千真沙氏(陶芸家・APP ART STUDIO)、  
宍倉慈氏(Volver主宰)  
日時=8月9日(日) 午後1時-4時

【映画上映会】

NFC所蔵作品選集 MoMAK Films 2015:「食卓のある映画」(仮)  
7月31日(金)・8月1日(土)

※いずれも会場は京都国立近代美術館、  
詳細は展覧会ホームページでご確認ください。

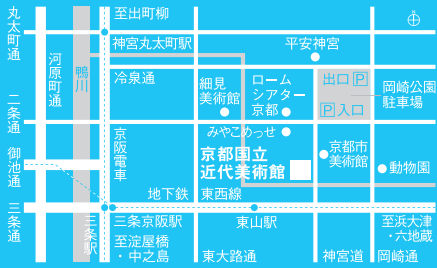
展示室の一角ではカウンターをご用意。  
お食事をバーチャルに体験できます。



ギメ東洋美術館での展示風景 ©L'art de Rosanjin

【交通案内】

◆JR・近鉄～バスをご利用の方  
◎JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス5番 岩倉行[岡崎公園 美術館・平安神宮前]下車すぐ◎JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス100番(急行)銀閣寺行[岡崎公園 美術館・平安神宮前]下車すぐ  
◆阪急電鉄・京阪電鉄～バスをご利用の方  
◎阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス5番 岩倉行[岡崎公園 美術館・平安神宮前]下車すぐ◎阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス46番 平安神宮行[岡崎公園 美術館・平安神宮前]下車すぐ  
◆市バス他系統をご利用の方  
◎[岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前]または「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分  
◆地下鉄をご利用の方  
◎地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分  
※当館には駐車場がありません。岡崎公園駐車場(地下)をご利用ください。※岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。



京都国立近代美術館 (岡崎公園内)

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町  
Tel:075-761-4111  
テレホンサービス(展覧会のご案内):075-761-9900  
ホームページ: <http://www.momak.go.jp>

一般	お得な「来場期間限定」前売券
1100円	6月19日(金)～7月12日(日)のご来場がお得なチケットです。
他の割引との併用不可。一般のみ販売[7月14日(火)以降はご購入の際に200円の追加料金を会場の観覧券売場でお支払いください]。販売場所など詳細は展覧会ホームページでご確認ください	



「近作鉢の会」に  
1936年ほか  
食器は  
料理の  
着物の  
は



書や篆刻料理、そして陶芸など多彩なジャンルで活躍し、美食の道をきわめた存在として広く親しまれている異才の芸術家、北大路魯山人(1883-1959)。  
大正・昭和初期に「美食倶楽部」や「星岡茶寮」での活動を通じて、魯山人は大膽かつ型破りな発想で独自の道へとなし、世界を築くとともに、自らも理想とする器を求めて本格的に作陶の道へと進みます。古陶磁に学びながらも粗板皿や大鉢といった独自の遊び心を示す魯山人の器と、料理が繰り広げるその豊饒な対話は、美食を求める多くの人々を魅了してきました。  
この展覧会では、「器は料理の着物」として、和食の魅力を豊かに読み解き、その革新に挑んだ魯山人の仕事を通じて、もてなしの精神や自然観を結晶させた器と料理の関係を紹介します。魯山人作品と、京都の料亭の協力により現代日本の写真家(上田義彦、蓮井幹生、広川泰士)が新しい視点でとらえた写真・映像を織り交ぜた構成で、美を味わう姿勢を貫いた魯山人の世界観を体感していただけることでしょう。

- ①《織部桶鉢》 1925-1954年 世田谷美術館
- ②《糸万幾平向五》 1945年頃 足立美術館
- ③《織部粗板盤》 1949年 京都国立近代美術館
- ④《呉須金貝形鉢》 1935年頃 足立美術館
- ⑤《色絵金彩椿文鉢》 1955年頃 京都国立近代美術館
- ⑥《蓋付織部四方角鉢(瓢亭・くずやにて)》  
京都南禅寺畔 瓢亭 撮影:上田義彦
- ⑦《菊乃井・竹の間(朝)》 菊乃井 撮影:広川泰士
- ⑧《造里盛込》(器:備前四方) 京都吉兆 撮影:蓮井幹生

